

平成23年度 指定管理者施設管理評価シート

部 生涯学習推進担当 課 青少年・スポーツ課

施設名称		[47~53] 台東リバーサイドスポーツセンター				
指定管理者の名称		公益財団法人台東区芸術文化財団		指定期間	H22. 4. 1 ~ H25. 3. 31	
<b>1. 指定管理者の概要</b>						
(1) 業務内容	芸術文化、区民文化、スポーツ文化に関する事業の実施 芸術・文化・スポーツ施設の管理運営					
(2) 類似施設の管理実績	朝倉彫塑館、下町風俗資料館、一葉記念館、旧東京音楽学校奏楽堂、書道博物館					
(3) 経営状況	H22年度 収入計 804,726,858円、支出計 768,528,147円 収支差額 36,891,711円					
<b>2. 施設の概要</b>						
(1) 所在地	台東区今戸一丁目1番10号					
(2) 設置目的	区民の生涯スポーツ及びレクリエーションの振興並びに児童、生徒の体位及び体力の向上を図り、もって心身の健全な発達に寄与する。					
(3) 利用者	区内在住・在勤・在学の方					
(4) 開館日・時間	月曜日（第一月曜日は開館）・年末年始を除く毎日9：00～22：00 （陸上競技場・少年野球場は9：00～17：00）					
(5) 規模	延床面積（体育館：11,939.34㎡、陸上競技場：3,073㎡） 敷地面積（陸上競技場：10,560㎡、野球場：14,476.96㎡、庭球場：3,528㎡、水泳場：3,540㎡、少年野球場：3,703.9㎡）					
(6) 人員体制	14名 所長（1）、副所長（1）事務職員（12）					
<b>3. 事業（サービス提供）の概要</b>						
(1) 委託事業	管理運営、総合体育館個人開放、初心者スポーツ教室					
(2) 自主事業	硬式テニス教室、桜橋わんぱくトライアスロン、区民ドッジボール大会					
<b>4. 予算決算の推移</b>						
		18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
予算	委託料	188,595,000	197,414,000	157,186,000	202,835,000	237,567,000
	料金収入等					
	管理経費	188,595,000	197,414,000	157,186,000	202,835,000	237,567,000
決算	委託料	168,439,589	168,632,999	155,389,474	158,399,962	191,438,853
	料金収入等					
	管理経費	168,439,589	168,632,999	155,389,474	158,399,962	191,438,853
	収支	0	0	0	0	0
<b>5. 施設の稼働状況等（活動指標）</b>						
指標名称		単位	19年度	20年度	21年度	22年度
開館日数		日	323	323	324	323
初心者スポーツ教室講座数		講座	11	11	11	11
硬式テニス教室実施回数		回	480	240	240	468
<b>6. 成果指標</b>						
指標名称		単位	目標値 (24年度)	20年度	21年度	22年度
利用者数		人	400,000	342,624	327,654	386,775

**7. 平成22年度評価結果に対する現在までの取り組み**

区民からの要望が多かったビーチボールの個人開放を実施し、利用者のニーズに対応している。

**8. 評価項目**      3：協定等の水準を上回っている。      0：協定等の水準を下回っている。  
 2：協定等の水準どおりである。      -：評価対象外項目。  
 1：おおむね協定等の水準だが課題がある。

評価の観点	評価項目			
(1) 事業の運営 平均 [1.9]	(a) 施設の目的達成 [2]	(f) 開館時間等の遵守 [2]	(g) 自主事業の成果 [2]	(h) 個人情報保護 [2]
	(b) サービス水準 [2]	(i) 緊急時対応マニュアル [1]	(j) 警備・防犯体制 [2]	
	(c) 職員配置 [2]			
	(d) 職員研修 [2]			
	(e) 案内・接遇 [2]			
(2) 施設の維持管理 平均 [2.0]	(a) 建物保守・設備機器点検 [2]	(e) 危険箇所等の確認 [2]	(f) 管理記録の作成・保存 [2]	(g) 業務委託の事前承認 [2]
	(b) 備品の管理 [2]	(h) 省エネ・省資源・環境配慮 [2]		
	(c) 清掃・衛生管理 [2]			
	(d) 施設の修繕 [2]			
(3) 利用者の満足度 平均 [1.8]	(a) 利用者・第三者機関の評価 [1]	(d) 利用しやすい環境整備 [2]	(e) 関係団体・地域との関わり [2]	
	(b) 苦情・要望への対応と報告 [2]			
	(c) 利用者数の目標達成 [2]			
(4) 歳入歳出 平均 [2.0]	(a) 適正な予算執行 [2]	(c) 収支計画の達成 [2]	(d) 利用料等の徴収・管理 [2]	
	(b) 経費削減のための取り組み [2]			

**9. 評価**

S (水準以上) : 協定等の水準を満たし、一部に水準を上回る内容がある。  
 A (適正) : 協定等の水準を満たす管理が行われている。  
 B (一部課題あり) : 協定等の水準を満たしているが、一部に課題がある。  
 C (課題あり) : 協定等の水準を満たしているが、課題が複数ある。  
 D (水準未滿) : 協定等の水準を満たしていない。

評価の観点	評価	説明
(1) 事業の運営	B	台東区の中核スポーツ施設としての役割をふまえ、適切な運営とサービスの提供に努めているが、震災など多様な状況を想定したマニュアルが備えられていないなど、一部課題があり、対応が求められる。
(2) 施設の維持管理	A	軽微な修繕については協定に即し、管理運営経費での対応を行っており、適正な維持管理を行っている。
(3) 利用者の満足度	B	各種スポーツ団体等との連絡を行い、一定の利用者数を確保しているものの、利用者の満足度調査が行われておらず、改善が求められる。
(4) 歳入歳出	A	体育館大規模改修に伴う冷暖房設備設置後、初めての通年営業であり、光熱水費の増が予想されたが、適切な運用により、管理経費は適正な水準となっている。利用者数の確保により、歳入も適正な水準である。

**10. 総合評価**      良好   妥当   要努力   要改善   不適

**要努力**

施設管理に関しては、適正に行われるとともに、陸上競技場の開館時間延長など、区民サービスの向上にも努めているが、一部課題がある。区民サービス向上のため、課題への対応を図っていく必要がある。

**11. 平成23年度評価結果に対する今後の対応**

今後の更なるスポーツ振興のために台東リバーサイドスポーツセンターは、区のスポーツの拠点施設として、関係スポーツ団体や地域との連携・協働のもと充実を図っていく。また、施設利用者の満足度調査を実施し、その結果を施設の改善に向けて活用していく。震災などを想定した指針についても整備を行い、多様な状況に対応できる体制を構築していく。